

平成15年8月1日～17年2月25日

大阪再生・地方分権調査特別委員会 4月26日

(鈴木和夫君) JR西日本さんとして、関西における海外の人たちの受け入れの施策というのは、何か考えておられるんですか。

講師(土屋隆一郎君) 私ども、鉄道全体の中では、JRグループの中でニューヨークとパリにオフィスを持って、いろんな海外の情報を取得することが一つ。

それから、もう一つは、旅行エージェントですね。私どもの子会社として日本旅行がございまして、あとJT Bさんとかいろいろ旅行代理店とセットになって、海外から国内に来るお客様に国内のどういう観光資源を提供するか、同時に国内でどういう形で鉄道の安くて乗りやすい輸送機関を提供するかということをしております。

もう一つは、今上海にオフィスを設けました。将来中国は大変な可能性がある地域だろうと、中国から日本に来ていただく種まきをしようじゃないかということで、直営で今上海にオフィスを持って試みを始めております。

それから、当社の会長の南谷が国際観光推進センターの理事長をやりながら、いわゆるインバウンド、海外から国内に人においでいただくいろんな活動をしたりしております。

そういうことくらいでございましょうか。

(鈴木和夫君) ヨーロッパに行きましたら、一週間、三週間、三月、半年ですかね、鉄道の要するにフリーパスみたいな形で、個人で行く場合においても大変安い運賃で行けるわけです。先ほど話がちょっと出てましたけれども、関西、特に日本は運賃が高いところがありますから、特にこれからは、先ほどおっしゃったように東アジアからの誘致というのは大事なわけで、JR西日本では、そういうような外国人専用のパスみたいなものはつくっておられないんですか。

講師(土屋隆一郎君) ございます。今、JR北海道から九州まで共通でジャパンレールパスという、これは大変安くて、ヨーロッパでいうユーレールパスみたいなものですが、ジャパンレールパスというのがございます。また、私どもJR西日本だけ独自の、関空でも国内でもお買い求めいただけます。ジャパンレールパスというのは、海外からおいでになるときに向こうでお買い求めいただくんですけども、ジャパンレールパスに加えまして、JR西日本のレールパスというのも発売しております。

(鈴木和夫君) それは、日本で買えるんですか。

講師(土屋隆一郎君) はい。関西国際空港で買えます。唯一、海外のお客様が日本の国内においでになってお買い求めいただけるパスというのは、私どものエリアの中だけでございますけれども、恐らくJR西日本のレールパスだけだと思います。

(鈴木和夫君) 需要は出てきているんですか、その売り上げというのは。

講師(土屋隆一郎君) 売り上げは、伸びてますよ。確実に伸びています。ただ、去年は関空自体のお客様が大変減っておられまして、私どものはるか一昨年に比べたら五割くらいでありましたから、いろんな海外の - - イラクであるとかSARSの問題がありまして、去年は相当落ち込みましたけれども、トレンドとしては確実にふえております。

委員長(大友康亘君) ほかにございませんでしょうか。

それでは、まだまだお伺いしたいことがたくさんあると思いますけれども、時間の関係もございますので、以上をもって質疑を終わらせていただきたいと思います。

土屋様には、長時間にわたりまして貴重な御講演をいただき、まことにありがとうございました。

それでは、御退席されますので、拍手でお見送りをしたいと思います。どうもありがとうございました。